

景気判断、売上高は最悪期を脱したものの、 先行きの回復テンポは鈍い

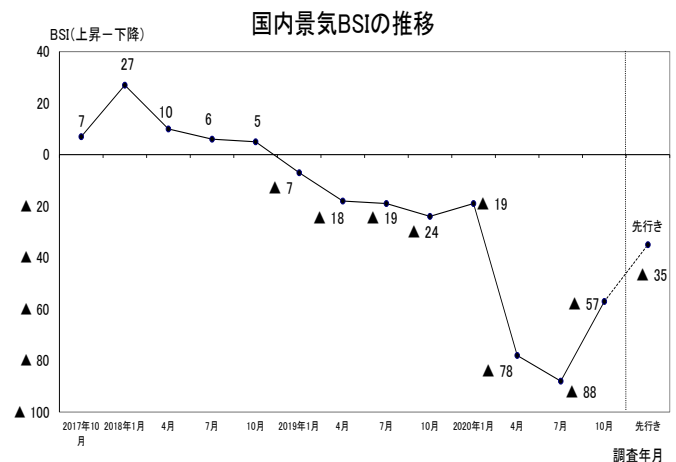
——— 第165回企業経営動向調査より ———

埼玉県内の企業を対象に10月に実施したアンケート「第165回企業経営動向調査」(対象企業932社、回答企業数236社、回答率25.3%)によると、景気判断、売上高は最悪期を脱したものの、先行きの回復テンポは鈍い。

最近(2020年10月)の国内景気に対する見方は、「上昇」5%、「下降」62%で、BSI(「上昇」－「下降」の企業割合)は▲57となり、前回調査(2020年7月)の▲88から31ポイントの改善となった。

新型コロナウイルス感染症の影響で、4月、7月調査で大きく悪化した国内景気のBSIは今回改善した。最悪期は脱したとみられるものの、マイナス幅は依然大きく厳しい見方が続いている。

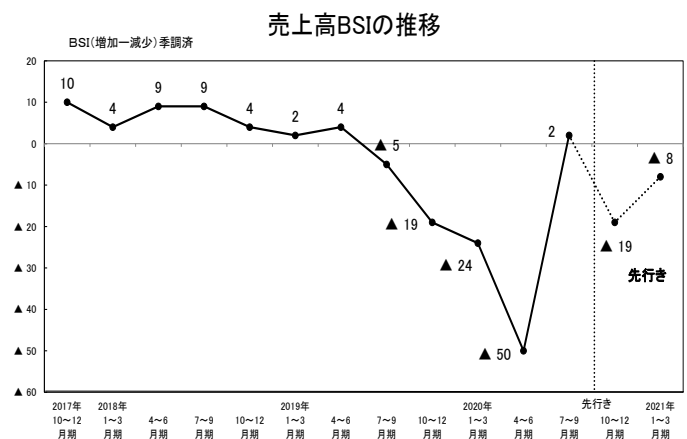
先行き(約6カ月後)については、「上昇」13%、「下降」48%で、BSIは▲35と現状から22ポイントの改善となった。現状より改善するとの見方が多いが、BSIは低い水準となっており回復テンポは鈍い。



2020年7~9月期の売上高は、季調済BSI(「増加」－「減少」の企業割合、季節調整済)が+2となり、前回調査対象期間(2020年4~6月期)の▲50から52ポイントの大幅な改善となった。

前回調査対象期間は緊急事態宣言が埼玉県内に発出されていた期間(4月7日~5月25日)を含んでおり、売上高の大幅な落ち込みとなったが、経済活動が徐々に再開してきたことから、7~9月期は前期に比べ大きな改善となった。

先行きについては、2020年10~12月期のBSIが▲19、2021年1~3月期は▲8とマイナスが続く。現状より悪化すると見込む企業が多く、厳しい状況が続くとみている。(照会先：吉嶺)



1. 景況判断

(1) 国内景気

(現状)

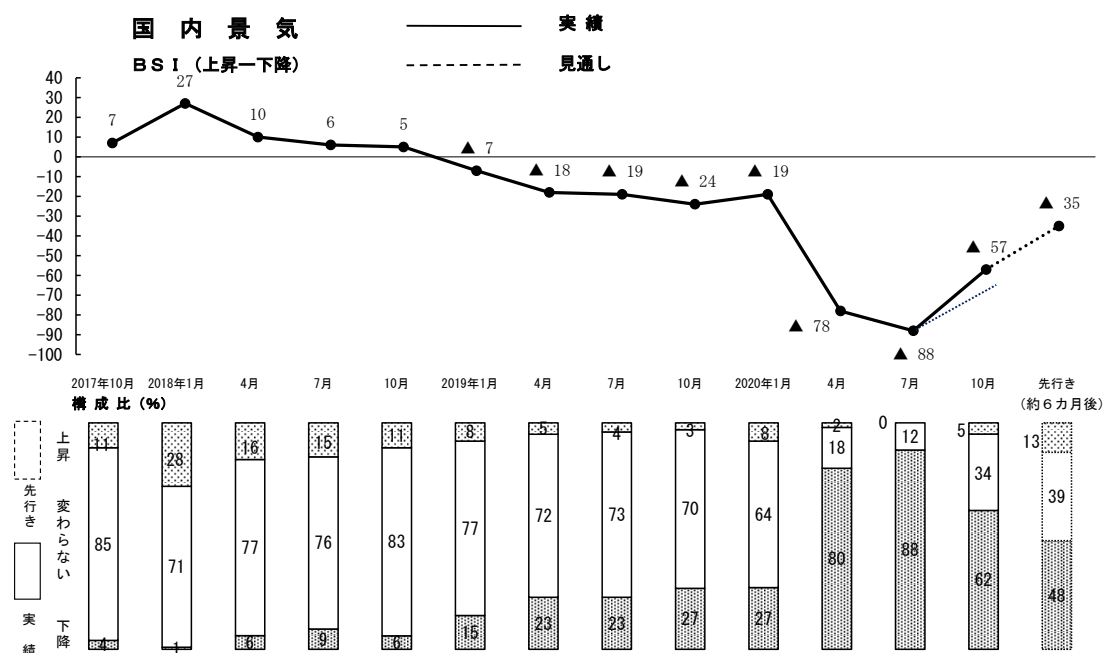
最近(2020年10月)の国内景気に対する見方は、「上昇」5%、「下降」62%で、BSI(「上昇」-「下降」の企業割合)は▲57となり、前回調査(2020年7月)の▲88から31ポイントの改善となった。

新型コロナウイルス感染症の影響で、4月、7月調査で大きく悪化した国内景気のBSIは今回改善した。最悪期は脱したとみられるものの、マイナス幅は依然大きく厳しい見方が続いている。

業種別にみると、製造業はBSI▲54で前回調査の▲86から32ポイントの改善、非製造業は▲58で前回調査の▲89から31ポイントの改善となった。

(先行き)

先行き(約6カ月後)については、「上昇」13%、「下降」48%で、BSIは▲35と現状から22ポイントの改善となった。先行きについては現状より改善するとの見方が多いが、BSIは低い水準となっており回復テンポは鈍い。業種別では、製造業はBSI▲20で現状から34ポイントの改善、非製造業は▲44で14ポイントの改善となった。



(2) 業界景気

(現 状)

最近の自社業界の景気に対する見方は、「上昇」4%、「下降」57%で、BSIは▲53となり、前回調査の▲67から14ポイントの改善となった。

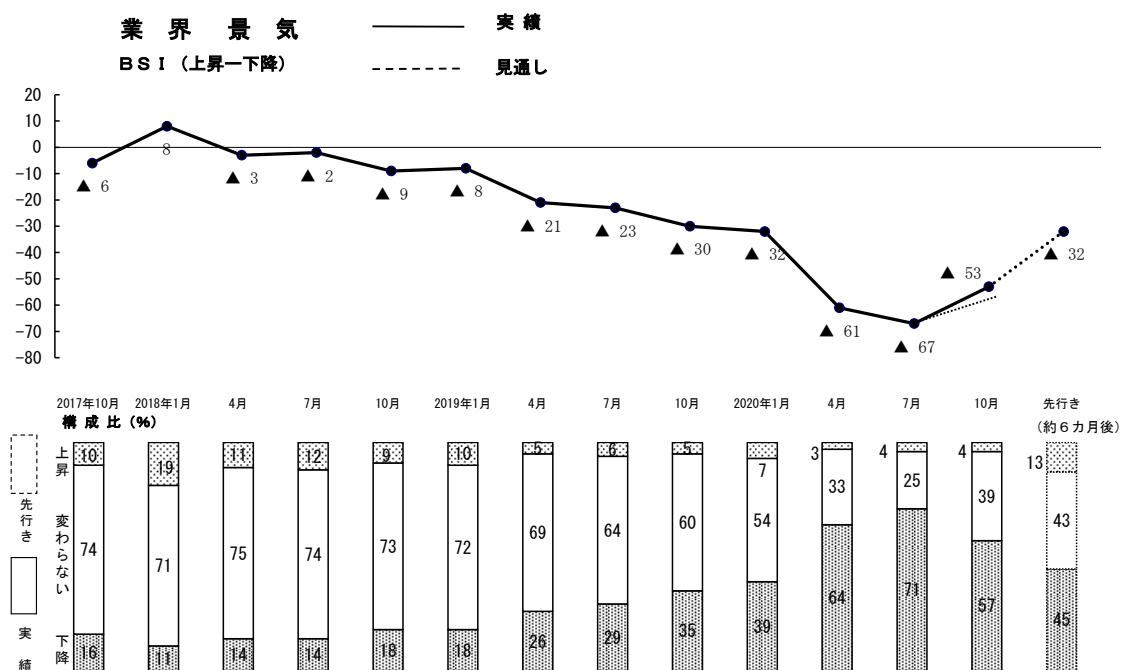
国内景気の見方と同様、自社の業界景気についてもBSIは改善となったが、引き続き「下降」とするところが多い。業界景気の見方は厳しい状況が続いている。

業種別にみると、製造業はBSI ▲63で前回調査の▲71から8ポイントの改善、非製造業は▲46で前回調査の▲66から20ポイントの改善となった。

(先行き)

先行きについては「上昇」13%、「下降」45%で、BSIは▲32と現状から21ポイントの改善となった。業界景気の先行きについても、国内景気同様「下降」とするところが増え、現状より改善するとの見方が多くなっているが、BSIは低い水準となっている。

業種別では、製造業はBSI ▲21で現状から42ポイントの改善、非製造業は▲39で7ポイントの改善となった。



(3) 自社業況

(現 状)

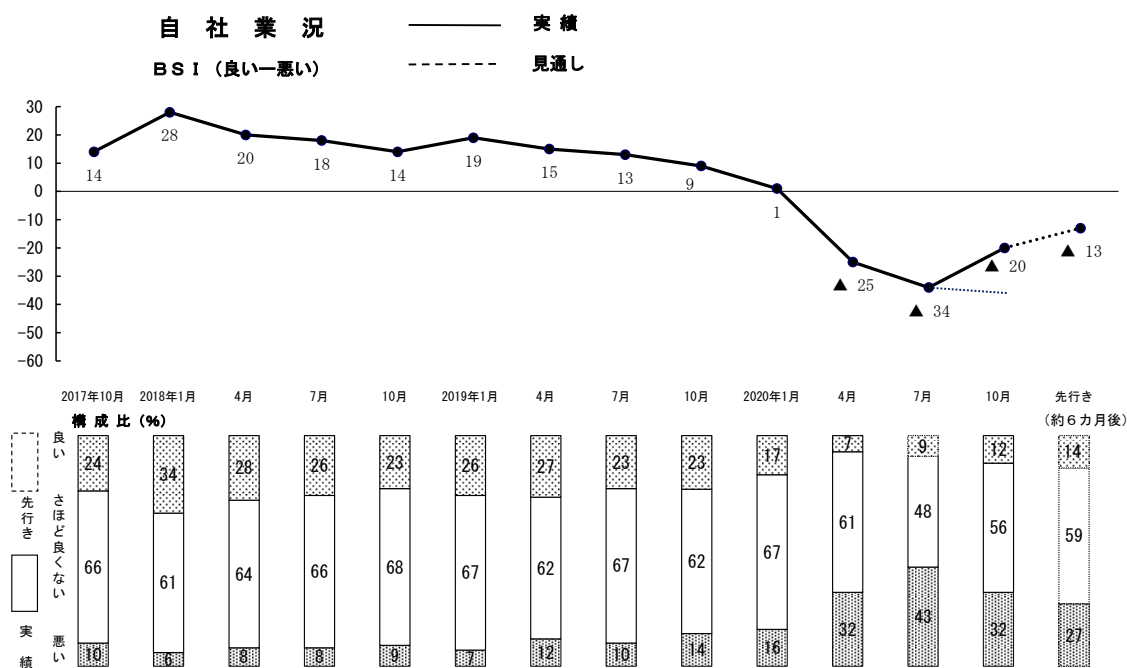
最近の自社の業況に対する見方は、「良い」とする企業12%、「悪い」とする企業32%で、BSIは▲20となり、前回調査の▲34から14ポイントの改善となった。前回調査と比べると、「下降」とするところは減っているものの、BSIの水準は低く、引き続き厳しい状況が続いている。

業種別にみると、製造業はBSI ▲36で前回調査の▲52から16ポイントの改善、非製造業は▲10で前回調査の▲25から15ポイントの改善となった。

(先行き)

先行きについては「良い」とする企業14%に対し、「悪い」とする企業は27%、BSIは▲13と現状から7ポイントの改善となったが、回復テンポは鈍い。

業種別では、製造業はBSIが▲18で現状から18ポイントの改善、非製造業は▲11で1ポイントの悪化となった。非製造業では、卸売、小売、建設、飲食店・宿泊、サービスなどで先行きの見方が厳しくなっている。



(2) 経常利益

(現 状)

2020年7～9月期の経常利益は、季調済BSIが+2となり、前回調査対象期間（2020年4～6月期）の▲50から52ポイントの大幅な改善となった。売上高同様、新型コロナウイルス感染症の影響で4～6月期に大幅に悪化したことから、経常利益は前期に比べ大幅な改善となった。

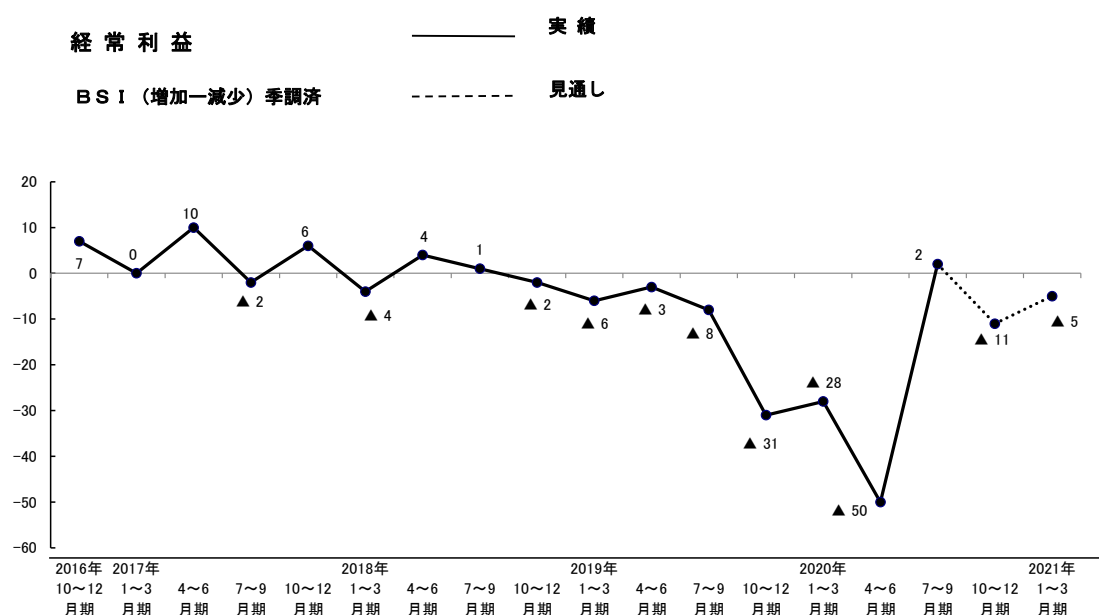
増加の要因（複数回答）としては、「売上・受注の好転」をあげるところが71%と最も多いが、「諸経費の圧縮」も29%と高い割合となっている。経費削減など企業努力で利益を確保するところが多くなっている。

業種別にみると、製造業はBSI ▲13で前回調査の▲62から49ポイント、非製造業は+9で前回調査の▲45から54ポイントの改善となった。

(先行き)

先行きについては、2020年10～12月期のBSIが▲11、2021年1～3月期は▲5とマイナスが続く。売上高同様、経常利益についても現状より悪化すると見込む企業が多く、厳しい状況が続くとみている。

業種別では、製造業が2020年7～9月期、10～12月期、2021年1～3月期に▲13→▲12→▲12、非製造業では+9→▲11→▲2となっている。



(3) 設備投資

(現 状)

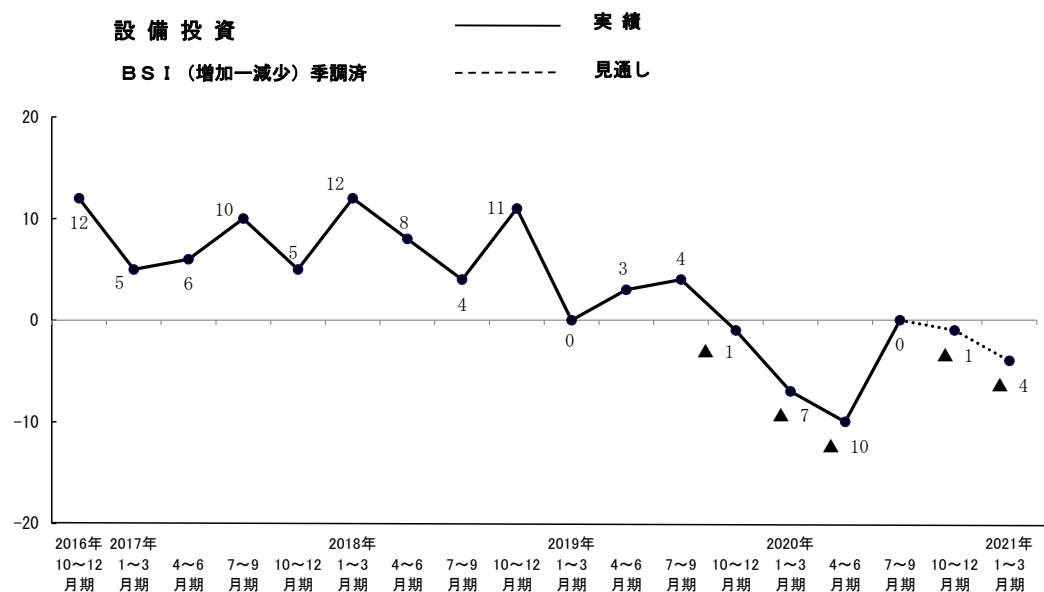
2020年7～9月期の設備投資は、季調済BSIが0となり、前回調査対象期間（2020年4～6月期）の▲10から10ポイントの改善となった。売上高・利益が4～6月期を底に最悪期を脱したとみられることから、やや持ち直しの動きとなった。

業種別にみると、製造業はBSI ▲11で前回調査の▲10から1ポイントの悪化、非製造業は+6で前回調査の▲9から15ポイントの改善となった。

(先行き)

先行きについては、2020年10～12月期のBSIが▲1、2021年1～3月期は▲4となっており、現状よりやや悪化し慎重な動きが続く見込み。

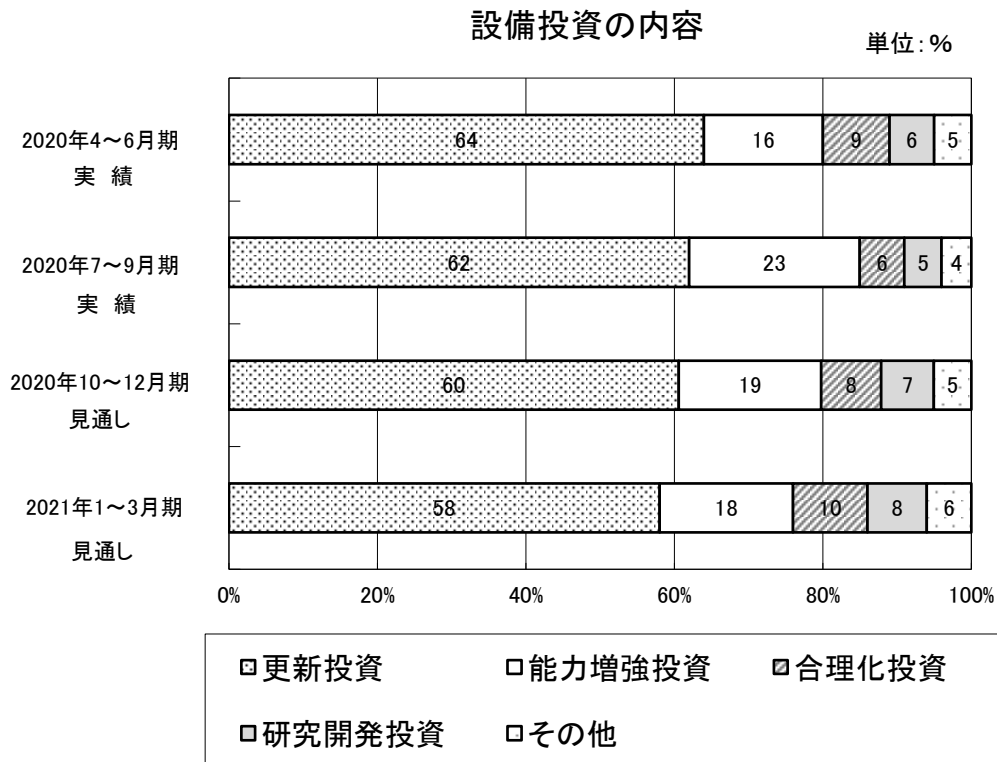
業種別では、製造業が2020年7～9月期、10～12月期、2021年1～3月期に▲11→▲2→▲3、非製造業では+6→+1→▲3となっている。



<設備投資の内容>

設備投資の内容については、2020年7～9月期は「更新投資」が62%、「能力増強投資」23%、「合理化投資」6%、「研究開発投資」5%などとなった。「更新投資」が6割以上を占め「更新投資」中心であるが、前期に比べると「能力増強投資」が増加している。

2020年10～12月期、2021年1～3月期の見通しは、引き続き「更新投資」中心となっているが、「合理化投資」もやや増加してきている。



(4) 雇 用

(現 状)

最近（ここ6カ月間）の雇用状況をみると、雇用人員が「増加」とした企業は14%、「減少」とした企業は18%で、BSIは▲4と前回調査の+8から12ポイントの悪化となった。

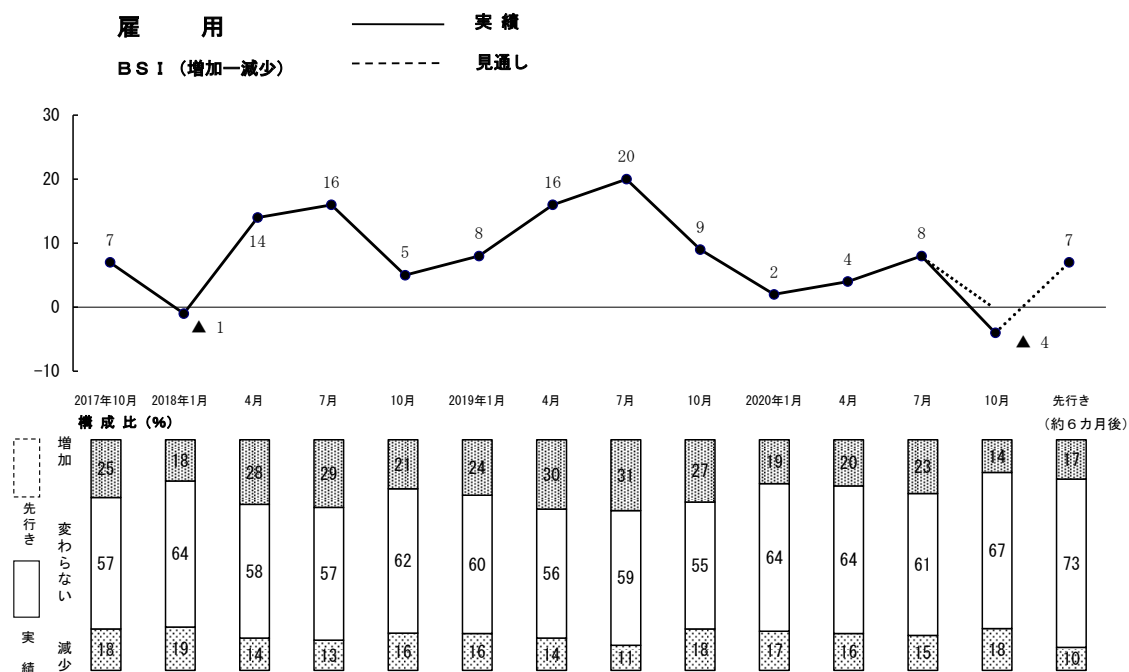
新型コロナウイルス感染症の影響で、業況の悪化から雇用が「減少」したとする企業も多くなっているためとみられる。

業種別にみると、製造業はBSI ▲13で前回調査の+5より18ポイントの悪化、非製造業は+1で前回調査の+10より9ポイントの悪化となった。

(先行き)

先行き（約6カ月後）については、「増加」とする企業が17%、「減少」とする企業が10%でBSIは+7と現状から11ポイントの改善となった。雇用の先行きについてはやや増加を見込む企業が多くなっている。

業種別では、製造業はBSI ▲3で現状から10ポイントの改善、非製造業は+11で10ポイントの改善となっている。



(5) 設備操業度 (製造業)

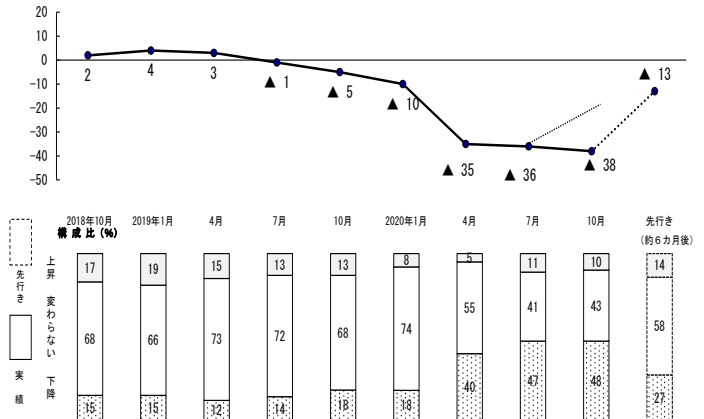
(現 状)

最近 (ここ6カ月間) の設備操業度は、「上昇」10%、「下降」48%でBSI (上昇-下降) は▲38と、前回調査の▲36から2ポイントの悪化となった。設備操業度はこのところ、低い水準で推移している。

(先行き)

先行き (約6カ月後) については、「上昇」14%、「下降」27%となり、BSIは▲13と現状より25ポイントの改善となった。

設備操業度 ——— 実績
BSI (上昇-下降) - - - - - 見通し



(6) 在庫水準 (製造業)

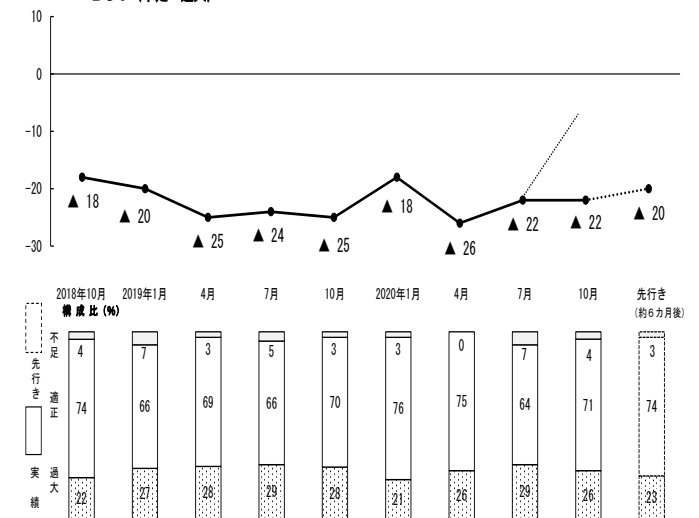
(現 状)

最近の在庫水準は「不足」4%、「過大」26%でBSI (不足-過大) は▲22と前回調査から横ばいとなった。在庫水準について、「過大」とするところが多い状況が続いている。

(先行き)

先行きについてはBSIが▲20と、現状より2ポイントの改善となった。先行きについても、在庫が「過大」とする企業が多い。

製商品の在庫水準 ——— 実績
BSI (不足-過大) - - - - - 見通し

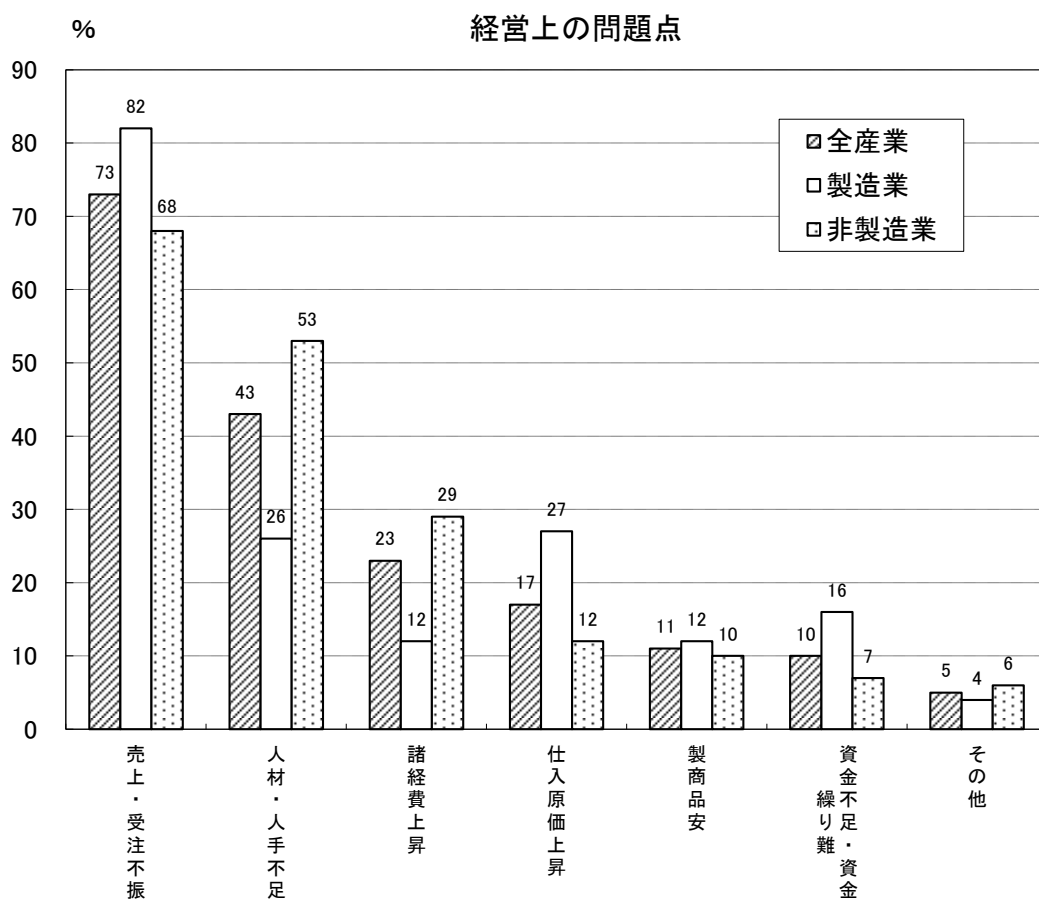


3. 経営上の問題点

経営上の問題点（複数回答）については、「売上・受注不振」が73%と最も多かった。次いで「人材・人手不足」43%、「諸経費上昇」23%、「仕入原価上昇」17%、「製商品安」11%、「資金不足・資金繰り難」10%などとなった。

新型コロナウイルス感染症の影響が出た本年4月調査以降、「売上・受注不振」が最も多くあげられており、今回も7割を超えている。「人材・人手不足」は4月調査以降減ってはいるものの、依然4割を超えており引き続き、経営上の問題となっている。

業種別にみると、製造業では「売上・受注不振」82%が最も多く、次いで「仕入原価上昇」27%、「人材・人手不足」26%、「資金不足・資金繰り難」16%などとなった。非製造業では「売上・受注不振」68%が最も多く、次いで「人材・人手不足」53%、「諸経費上昇」29%、「仕入原価上昇」12%などとなった。



付表 業種別項目別BSIの推移

業 種	項 目 期 別	国内景気 (上昇-下降)			業界の景気 (上昇-下降)			自社の業況 (良い-悪い)		
		2020年 7月 前回調査	2020年 10月 今回調査	2021年 3月まで 見通し	2020年 7月 前回調査	2020年 10月 今回調査	2021年 3月まで 見通し	2020年 7月 前回調査	2020年 10月 今回調査	2021年 3月まで 見通し
		全 産 業	▲ 88	▲ 57	▲ 35	▲ 67	▲ 53	▲ 32	▲ 34	▲ 20
製 造 業	▲ 86	▲ 54	▲ 20	▲ 71	▲ 63	▲ 21	▲ 52	▲ 36	▲ 18	
食 料 品	▲ 100	▲ 56	▲ 11	▲ 11	▲ 67	▲ 22	▲ 34	▲ 22	▲ 22	
織 維	▲ 100	▲ 50	▲ 100	▲ 100	▲ 50	▲ 50	▲ 100	▲ 50	0	
化 学	▲ 25	▲ 13	12	▲ 25	▲ 50	▲ 12	▲ 25	▲ 25	0	
窯 業・土 石	▲ 100	0	▲ 50	▲ 100	0	▲ 50	▲ 50	0	▲ 50	
鉄 鋼	0	▲ 100	▲ 100	0	▲ 100	0	0	▲ 100	0	
非 鉄 金 属	▲ 100	0	34	▲ 100	0	67	▲ 100	0	67	
金 属 製 品	▲ 67	▲ 83	▲ 17	▲ 67	▲ 83	0	▲ 33	▲ 67	▲ 33	
一 般 機 械	▲ 100	▲ 100	▲ 67	▲ 100	▲ 100	▲ 67	▲ 100	▲ 100	▲ 67	
電 気 機 械	▲ 82	▲ 81	▲ 50	▲ 82	▲ 75	▲ 44	▲ 46	▲ 44	▲ 31	
輸 送 機 械	▲ 100	▲ 30	30	▲ 100	▲ 64	9	▲ 80	▲ 18	9	
精 密 機 械	▲ 50	▲ 67	0	▲ 100	▲ 67	67	▲ 50	▲ 67	67	
木 材 木 製 品	▲ 100	▲ 67	▲ 34	▲ 100	▲ 67	▲ 33	▲ 50	▲ 33	▲ 100	
紙・紙加工品	▲ 100	▲ 100	▲ 100	▲ 50	▲ 100	▲ 100	▲ 50	▲ 50	▲ 100	
印 刷	▲ 75	▲ 75	▲ 50	▲ 100	▲ 75	▲ 50	▲ 50	▲ 50	▲ 25	
そ の 他	▲ 92	▲ 40	0	▲ 59	▲ 50	▲ 33	▲ 50	▲ 20	▲ 22	
非 製 造 業	▲ 89	▲ 58	▲ 44	▲ 66	▲ 46	▲ 39	▲ 25	▲ 10	▲ 11	
卸 売	▲ 93	▲ 77	▲ 56	▲ 67	▲ 66	▲ 49	▲ 34	▲ 11	▲ 22	
小 売	▲ 94	▲ 47	▲ 65	▲ 44	▲ 41	▲ 71	▲ 11	0	▲ 23	
建 設	▲ 86	▲ 52	▲ 45	▲ 55	▲ 18	▲ 25	▲ 9	0	▲ 10	
不 動 産	▲ 75	▲ 48	▲ 42	▲ 63	▲ 19	▲ 24	13	19	5	
運 輸・倉 庫	▲ 93	▲ 47	▲ 28	▲ 75	▲ 53	▲ 28	▲ 50	▲ 35	0	
電 気・ガ ス	▲ 80	▲ 50	16	▲ 60	▲ 50	16	▲ 40	▲ 17	17	
情 報 通 信	▲ 80	▲ 25	▲ 25	▲ 80	▲ 50	▲ 50	▲ 20	▲ 25	0	
飲 食 店・宿 泊	▲ 89	▲ 86	▲ 29	▲ 89	▲ 57	▲ 43	▲ 56	▲ 57	▲ 43	
サ ー ビ ス	▲ 91	▲ 63	▲ 47	▲ 73	▲ 63	▲ 47	▲ 30	▲ 14	▲ 13	

項目 期別 業種	売上高 (増加-減少)						経常利益 (増加-減少)					
	原数値			季調値			原数値			季調値		
	2020年 7~9月 実績	2020年 10~12月 実績見込み	2021年 1~3月 見通し	2020年 7~9月 実績	2020年 10~12月 実績見込み	2021年 1~3月 見通し	2020年 7~9月 実績	2020年 10~12月 実績見込み	2021年 1~3月 見通し	2020年 7~9月 実績	2020年 10~12月 実績見込み	2021年 1~3月 見通し
	全産業	0	0	▲10	2	▲19	▲8	▲4	3	▲7	2	▲11
製造業	▲8	6	▲19	▲7	▲17	▲15	▲16	5	▲11	▲13	▲12	▲12
食料品	45	▲11	▲44	29	▲28	▲10	34	11	▲22	21	7	11
繊維	0	▲50	0	▲10	▲21	9	50	▲50	0	35	▲30	11
化学	▲25	37	▲12	▲36	31	▲16	0	25	▲12	10	▲3	▲9
窯業・土石	100	50	▲50	72	14	▲26	100	50	▲50	74	5	▲30
鉄鋼	0	▲100	▲100	29	▲93	▲75	▲100	▲100	0	▲95	▲100	▲17
非鉄金属	▲34	67	100	▲38	34	100	▲34	67	100	▲47	62	100
金属製品	▲50	33	16	▲52	6	▲18	▲66	40	20	▲53	14	▲27
一般機械	▲67	▲67	▲33	▲51	▲97	▲59	▲67	▲67	▲33	▲46	▲89	▲46
電気機械	▲57	▲37	▲38	▲60	▲67	▲46	▲43	▲19	▲18	▲50	▲40	▲29
輸送機械	37	37	▲20	28	0	▲12	▲19	37	▲10	▲24	18	▲5
精密機械	67	67	67	63	32	35	100	0	67	95	▲9	11
木材木製品	▲33	▲34	▲67	19	▲93	▲57	▲100	▲34	▲67	▲31	▲76	▲54
紙・紙加工品	50	0	▲100	50	▲28	▲45	0	0	▲100	▲13	▲17	▲53
印刷	50	25	▲50	68	▲22	▲58	50	0	▲50	70	▲31	▲73
その他	▲40	20	0	▲40	33	6	▲50	0	0	▲27	20	5
非製造業	5	▲4	▲5	8	▲20	▲3	2	0	▲5	9	▲11	▲2
卸売	▲18	18	▲18	▲5	▲15	13	▲7	26	▲22	0	6	11
小売	▲12	▲23	▲17	▲22	▲37	▲43	▲12	▲17	▲12	▲16	▲33	▲39
建設	27	▲4	▲4	38	▲24	▲11	18	▲4	▲5	36	▲21	▲14
不動産	5	▲29	29	14	▲33	23	5	▲14	29	17	▲24	26
運輸・倉庫	11	11	▲22	19	▲20	▲4	▲11	16	▲28	▲9	▲8	▲10
電気・ガス	16	67	67	-	-	-	16	50	67	-	-	-
情報通信	▲25	0	0	▲21	▲9	▲8	▲50	33	33	▲38	28	26
飲食店・宿泊	42	0	▲57	▲5	0	▲3	28	▲42	▲57	12	▲40	2
サービス	9	▲19	▲3	0	▲19	▲1	12	▲10	▲3	11	▲11	2

業種	項目 期別	設備投資 (増加-減少)						雇用 (増加-減少)		
		原数値			季調値			2020年 7月 前回調査	2020年 10月 今回調査	2021年 3月まで 見通し
		2020年 7~9月 実績	2020年 10~12月 実績見込み	2021年 1~3月 見通し	2020年 7~9月 実績	2020年 10~12月 実績見込み	2021年 1~3月 見通し			
全産業		2	1	▲4	0	▲1	▲4	8	▲4	7
製造業		▲10	2	▲7	▲11	▲2	▲3	5	▲13	▲3
食料品		22	22	0	26	8	11	0	▲11	11
繊維		0	0	50	3	9	44	0	0	0
化学		13	25	13	14	29	30	0	0	▲12
窯業・土石		0	0	0	▲15	▲17	▲5	0	50	50
鉄鋼		100	0	100	79	▲2	38	0	0	0
非鉄金属		33	34	▲67	9	43	▲41	▲50	▲33	0
金属製品		▲33	▲50	0	▲37	▲57	▲2	0	▲33	▲33
一般機械		0	0	▲33	40	▲2	▲44	0	▲33	▲33
電気機械		▲19	▲31	▲19	▲22	▲50	▲22	0	▲25	▲13
輸送機械		▲27	27	▲9	▲36	16	▲12	▲30	▲27	9
精密機械		0	33	33	▲18	37	38	100	0	▲33
木材木製品		33	33	33	33	34	33	25	0	33
紙・紙加工品		▲100	▲100	▲100	▲89	▲97	▲100	0	0	0
印刷		▲50	▲50	▲50	▲52	▲53	▲55	0	25	25
その他		▲30	20	▲10	▲29	22	0	34	▲10	0
非製造業		10	1	▲3	6	1	▲3	10	1	11
卸売		16	0	▲4	3	3	▲2	3	▲4	19
小売		12	6	0	6	4	▲4	5	0	▲12
建設		▲5	▲14	▲14	▲8	▲17	▲19	26	0	10
不動産		25	▲10	5	28	2	10	0	16	5
運輸・倉庫		0	6	0	▲6	▲2	▲8	▲6	6	33
電気・ガス		17	33	▲17	-	-	-	20	33	0
情報通信		25	25	0	19	31	0	40	50	75
飲食店・宿泊		0	0	▲16	3	▲2	▲10	▲11	▲43	▲14
サービス		7	3	4	3	7	4	19	▲7	7

業 種	項 目 期 別	設備操業度 (上昇-下降)			在庫水準 (不足-過大)		
		2020年 7月 前回調査	2020年 10月 今回調査	2021年 3月まで 見通し	2020年 7月 前回調査	2020年 10月 今回調査	2021年 3月まで 見通し
		全 産 業	-	-	-	-	-
製 造 業	▲ 36	▲ 38	▲ 13	▲ 22	▲ 22	▲ 20	
食 料 品	▲ 12	▲ 25	▲ 25	0	▲ 13	▲ 13	
織 維	0	0	0	▲ 100	▲ 50	▲ 50	
化 学	▲ 25	0	▲ 14	▲ 25	▲ 38	▲ 13	
窯 業・土 石	0	0	0	0	0	0	
鉄 鋼	0	0	▲ 100	0	0	0	
非 鉄 金 属	▲ 50	▲ 67	67	0	33	33	
金 属 製 品	▲ 33	▲ 50	17	▲ 33	▲ 50	▲ 67	
一 般 機 械	▲ 100	▲ 67	▲ 67	0	▲ 33	▲ 67	
電 気 機 械	▲ 36	▲ 63	▲ 36	▲ 27	▲ 19	▲ 21	
輸 送 機 械	▲ 20	▲ 9	18	▲ 40	▲ 18	▲ 18	
精 密 機 械	▲ 50	▲ 100	▲ 33	▲ 50	▲ 33	▲ 33	
木 材 木 製 品	▲ 25	▲ 67	0	▲ 50	0	▲ 50	
紙・紙加工品	▲ 50	0	0	▲ 50	0	0	
印 刷	▲ 50	▲ 25	▲ 25	0	▲ 25	0	
そ の 他	▲ 58	▲ 50	▲ 22	0	▲ 30	▲ 11	
非 製 造 業	-	-	-	-	-	-	
卸 売	-	-	-	-	-	-	
小 売	-	-	-	-	-	-	
建 設	-	-	-	-	-	-	
不 動 産	-	-	-	-	-	-	
運 輸・倉 庫	-	-	-	-	-	-	
電 気・ガ ス	-	-	-	-	-	-	
情 報 通 信	-	-	-	-	-	-	
飲 食 店・宿 泊	-	-	-	-	-	-	
サ ー ビ ス	-	-	-	-	-	-	

<調査手法>

わが国の代表的な景気動向調査として、日本銀行の「企業短期経済観測調査（短観）」と内閣府・財務省の「法人企業景気予測調査」とがあります。本調査はそれらの全国ベースの調査に対応する地域ベースの調査として、埼玉県内における経済産業動向や企業経営動向をアンケートの方法によって集計・調査したものです。

本文中にあるBSIは、ビジネス・サーベイ・インデックス（Business Survey Index）の略で、質問事項に対して「増加」「変わらない」「減少」の各要素を持つ3種類の選択肢を用意し、このうち増加要素を持つ選択肢に回答した企業の割合から、減少要素を持つ選択肢に回答した企業の割合の差をとったもので、企業の景況判断についての強弱感を指標化したものです。BSIのプラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化を表しています。例えば、回答した企業500社のうち150社（30%）の企業で売上が増加し、50社（10%）の企業が減少した場合、BSIは次のように20となります。

$$BSI = (150/500 \times 100) - (50/500 \times 100) = 30 - 10 = 20$$

<調査要領>

1. 調査の目的

埼玉県内における経済産業動向、企業経営動向を調査して、地域内企業の経営判断の参考に供するとともに、地域経済産業の発展に寄与することを目的としております。

2. 調査対象企業

県内に事業所を置く企業の中から、概ね従業員10名以上の企業を抽出、産業分類は日本標準産業分類に基づいて製造業15業種、非製造業9業種、計24業種に分類しました。対象企業の業種別内訳は別表のとおりです。

3. 調査時期 2020年10月

4. 調査方法

最近と先行きの景気・業況判断、2020年7～9月期の経営動向及び2020年10～12月期、2021年1～3月期の経営予測をアンケート方式により調査しました。

5. 回収状況

アンケートの回答企業は対象企業932社のうち、236社（回答率25.3%）。回答企業の業種別内訳と中小企業（中小企業庁方式）の占める比率は別表のとおりです。

別 表

業種別対象・回答企業数

	対象企業数	回答企業数	業種別構成比 (%)	うち中小企業 の占める比率 (%)
全 産 業	932	236	100.0	92.8
製 造 業	309	83	35.2	96.4
食 料 品	37	9	3.8	100.0
織 維	12	2	0.8	100.0
化 学	30	8	3.4	100.0
窯 業 ・ 土 石	9	2	0.8	100.0
鉄 鋼	9	1	0.4	100.0
非 鉄 金 属	9	3	1.3	100.0
金 属 製 品	19	6	2.5	100.0
一 般 機 械	33	3	1.3	100.0
電 気 機 械	36	16	6.8	100.0
輸 送 機 械	31	11	4.7	72.7
精 密 機 械	14	3	1.3	100.0
木 材 ・ 木 製 品	9	3	1.3	100.0
紙 ・ 紙 加 工 品	11	2	0.8	100.0
印 刷	26	4	1.7	100.0
そ の 他 製 造	24	10	4.2	100.0
非 製 造 業	623	153	64.8	90.8
卸 売	94	27	11.4	96.3
小 売	86	17	7.2	52.9
建 設	66	22	9.3	100.0
不 動 産	58	21	8.9	100.0
運 輸 ・ 倉 庫	81	18	7.6	100.0
電 気 ・ ガ ス	14	6	2.5	100.0
情 報 通 信	51	4	1.7	100.0
飲 食 店 ・ 宿 泊	42	7	3.0	85.7
サ ー ビ ス	131	31	13.1	87.1